

# 心づくりは、子どもから

「市民憲章運動推進全国研修会2024東京」が開催されました

令和6年11月25日、「市民憲章運動推進全国研修会」が、全国各地から市民憲章関係者の方たち約90人が集まり開催されました。会場は東京都江戸川区のタワーホール船堀。主催したのは全国市民憲章運動連絡協議会（令和6年度の事務局は山形県鶴岡市の鶴岡市民憲章推進協議会）です。

開会行事では、村田忠久・全国市民憲章運動連絡協議会会長（鶴岡市民憲章推進協議会会長）が「当協議会は長年にわたり市民憲章を基にした草の根的なまちづくりに努め、全国各地で57回の全国大会を開催してきたが、今年度は初めての試みとして東京で全国研修会を開催することにした。まちづくりは人づくりといわれるが、まちの将来を担う若者をどう育成するか。今回の研修会のテーマ。皆さまと意見交換、交流



藤沢市



できることはこの上ない喜び」と主催者を代表してあいさつしました。

続いての基調講演は、前愛知県瀬戸市長の伊藤保徳氏を講師に迎えました。演題は「まちづくりは人づくり」。副題に「将棋の藤井聡太名人・竜王（七冠）を生んだ瀬戸市の風土と教育」。自身の市長としての経験、まちづくり、人づくり、教育の大切さなどについて話しました。

事例発表では、市民憲章運動研究の第一人者の三輪真之氏（計画哲学研究所所長）がコーディネーターで進められました。

秋田県秋田市の秋田市民憲章推進協議会

からは「全国に先駆け市民憲章を『小学校社会科教材』に活用』についての発表がありました。設立当初から一貫して子どもたちの心を豊かにすることを心掛けて活動をしているとのことでした。

神奈川県藤沢市市民自治部市民自治推進課からは「藤沢市市民憲章の啓発用冊子」（小学校1～3年生用、4～6年生用、中学生用）を配布」についての発表がありました。現在は紙ベースでの配布は終了しているとのことでしたが、以前は、子どもたちの年齢に沿って分かりやすく市民憲章について理解してもらえりフレッツを配布しての啓発についてのお話でした。

研修会終了後には交流交歓会もあり、参加者は市民憲章のこれまでとこれからについて熱く語り合う一夜となりました。

